

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」のレビュー調査資料
【主要な5項目のうち5. 研究を推進するための体制の整備】

(1) 実施機関名：

(2) 最も関連の深い建議の項目：「5. 研究を推進するための体制の整備」

(3) 調査の観点

(3-1) 具体的目標：

ア. 推進体制の整備

イ. 分野横断で取り組む総合的研究を推進する体制

ウ. 研究基盤の開発・整備

エ. 関連研究分野との連携の強化

オ. 国際共同研究・国際協力

カ. 社会との共通理解の醸成と災害教育

キ. 次世代を担う研究者、技術者、防災業務・防災対応に携わる人材の育成

(3-2) 実施状況：

ア. 推進体制の整備

イ. 分野横断で取り組む総合的研究を推進する体制

ウ. 研究基盤の開発・整備

エ. 関連研究分野との連携の強化

オ. 国際共同研究・国際協力

カ. 社会との共通理解の醸成と災害教育

キ. 次世代を担う研究者、技術者、防災業務・防災対応に携わる人材の育成

(3-3) 具体的成果：

ア. 推進体制の整備

イ. 分野横断で取り組む総合的研究を推進する体制

ウ. 研究基盤の開発・整備

エ. 関連研究分野との連携の強化

オ. 国際共同研究・国際協力

カ. 社会との共通理解の醸成と災害教育

キ. 次世代を担う研究者，技術者，防災業務・防災対応に携わる人材の育成

(3-4) 達成度の自己評価：

ア. 推進体制の整備

イ. 分野横断で取り組む総合的研究を推進する体制

ウ. 研究基盤の開発・整備

エ. 関連研究分野との連携の強化

オ. 国際共同研究・国際協力

カ. 社会との共通理解の醸成と災害教育

キ. 次世代を担う研究者，技術者，防災業務・防災対応に携わる人材の育成

※ 本計画の主要な5つの項目のうち、「5. 研究を推進するための体制の整備」は、年次報告において取りまとめを行っていないので、自己点検の対象期間中の成果等について、全機関が報告する。